

令和7年度 千葉大学 SC 第1回定例会 報告書

チャプター名	千葉大学スチューデントチャプター
開催日時	2025年4月25日 16:00~17:30
場所	千葉大学/工学系総合研究棟 1/2 階/第2会議室
参加者	13名（内応用物理会員 6名）
開催目的 本会は、千葉大学 SC の新たな参加者に向けた応用物理学会 SC の説明と6月に予定されている交流会の打ち合わせを目的として開催された。また、外部から第一線で活躍されている講師を招き、研究及びキャリアに関する講演をいただき、先生方の専門分野に関する知見を広げるだけでなく、研究の進め方や考え方から研究に対するモチベーションの向上も目的に招待講演を依頼した。	
開催内容 スケジュール ① 16:00-16:30 応物 SC 要旨、早大日女大×千葉大合同交流会概要 ② 16:30-17:30 招待講演 ・ 東京大学 素粒子物理国際研究センター (ICEPP) 中山和之 「直線だけがまっすぐではない」 ・ 東北大学大学院理学研究科 大野誠吾 「モアレパターンのトポロジカルな性質に基づくテラヘルツ構造化光の発生」 前半は、本会の代表である米田が開会の挨拶を行い、新たな参加者に向けた応用物理学会 SC の説明および、メンバーリストの更新が行われた。その後、6月に実施予定の交流会の概要が共有された。後半は、招待講演として東京大学の中山先生と東北大学の 大野先生から、研究者になるまでの経緯や研究内容についての講演が行われた。また、これらに関して、質疑応答が交わされた。	
開催結果 千葉大学 SC のメンバーリストが更新された。更なるメンバー追加のために、知り合いの研究室への声掛けが提案された。また、合同交流会の概要や当日のスケジュールが共有され、交流会 Discord サーバーが紹介された。 中山先生からは、研究に興味を持ったきっかけや、研究者になった経緯、研究を進めていく上で大切なことや気づきについての講演がなされた。さらに、スピントロニクスに関わる研究内容が紹介され、質疑応答が交わされた。 大野先生からは、モアレパターンとメタマテリアルを用いたテラヘルツ光の偏光およ	

び位相制御についての研究紹介がなされた。また、恣意的でないデータ解析や情報エントロピーという指標が紹介され、モアレパターンやテラヘルツ光を扱う学生と質疑応答が交わされた。



講演の様子